

10月26日(月曜日)「外側より内側を」

【新改訳 2017】

ルカ 11・37-41

「すると、主は言われた。『なるほど、あなたがたパリサイ人は、杯や大皿の外側はきよめるが、その内側は、強奪と邪悪とでいっぱいです。……とにかく、うちのものを施しに用いなさい。(=きよめなさい)……。』」(39-41節)

一人のパリサイ人の家に食事に招かれて行った主イエスは、食前のきよめの洗い(当時、言い伝えとして守られていた)をされませんでした。それを見たそのパリサイ人が驚いたので、主は冒頭のように言われたのでした。かなり厳しいおことばです。

主イエスは、外見だけを繕っていて、内面には邪悪や欲望を放置しておく信仰者を喜ばれなかったのです。それは、一種の偽善でしかありません。食器の外側を洗っても内側を洗わないようなものです。愚かなことです。そして、より大切なことは、内側、すなわち心をきよめることのほうであると教えておられるのです。私たちはどうでしょうか。

今、私たちは、イエスの十字架の贖罪によってきよめていただけます。このことを心から感謝し、その祝福にあずからせていただきますよう。

～祈り～

主よ。私たちは、内側の邪悪を隠し、外側だけきれいにしたりします。どうか、まず内なる心をきよめ、あなたの内住と祝福をいただけるように助けてください。

【学びのために】。

マタイ 23・25-26、15・1、2、11、15-20 も参照。